



生涯学習推進専門講座

11月9日(木)～10日(金)「かでの2・7」で開催

今年度は、改めて「人づくりと地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備」に焦点を当て、計画策定・評価及び事業企画に関する専門的な知識や技術などについて理解を深めることを目的に講座を実施しました。2日間の日程で開催した研修の概要をお知らせします。詳しくは当センターまでお問い合わせください。

基調講義

「地域課題と向き合う事業の設計  
～その意義と企画・立案に求められる視点～」  
【講師】

栃木県教育委員会事務局生涯学習課課長補佐  
国立教育政策研究所フェロー 井上 昌幸 氏

講師からは右の内容について行政職員の視点からご講義いただきました。

- I なぜ地域課題なのか
- II 地域課題の状況
- III 地域課題と向き合う意義
- IV 施策化の視点
- V 事業計画の視点

国の施策の流れや地域課題の状況から行政が地域課題と向き合う意義・必要性をご説明いただき、特に施策化の視点では、行政職員が行うこととして

- 施策化したいことを各種計画に盛り込むこと
- 課題解決のためのロードマップを作成すること
- 必要性のエビデンス(根拠)を蓄積すること

が示されました。

さらに、事業計画の視点では、地域課題に関する事業企画のプロセス例として

- ① 「地域課題」の分析
- ② 取り上げるターゲットの設定
- ③ 「地域課題」の取り上げ方の検討
- ④ 効果的な「学習プログラム」の検討

が挙げられ、それぞれについて詳しくご説明いただきました。



ワークショップ①②③

「未来指向型の事業設計～戦略マップの作成」  
【進行】北海道立生涯学習推進センター職員

今回は、企業の経営戦略を立てるときに用いられる「バランス・スコアカード」を生涯学習・社会教育行政の視点で活用するワークショップを行いました。

参加者は、バランス・スコアカード等について学び、それらを作成しました。

バランス・スコアカードとは「財務」「顧客」「業務プロセス」「人材と変革」の4つの視点で経営戦略を策定し、その実行を管理するための経営手法  
出典：小さな会社にも活用できる「バランス・スコアカード」の作り方(新訂3版)伊藤和彦・上宮克己

今回のワークショップで行ったバランス・スコアカードの作成手順は以下のとおりです。

- ① ギャップ分析の手法を用いたビジョンの検討
- ② SWOT分析の手法の一部を活用した現状分析
- ③ 戦略マップの作成
- ④ スコアカードの作成  
⇒ バランス・スコアカードの完成

スコアカード

戦略施策	方法	目標値
地域住民	① 人がいる所に積極的な足運	30月1回
	②	"
行政	① ホムページ整備	2年後まで
	② 意識して情報に目をつける	毎日(100%程度)
人材と変革(行政)	① 意識して情報に目をつける	"
	② 研修(コミュニケーション能力)	年2回
人材と変革(住民)	① パソコン教室	年3回
	② 情報掲示板	常時

